

2026 年 4 月
かみこまつ保育園

令和 7 年度事業報告書

園全体として今年度の総括

4 月	・ 対面保護者会 『こどもの育ちに大切なアタッチメント』『保育実践』 ・ 園内防犯カメラの整備
6 月	・ 火災避難訓練の内容を変更。より現実的な避難訓練にする。 ・ 環境学習を実施。ゴミの分別や処理方法を学ぶ。
8 月	・ 卒園児ボランティアの内容を変更。午前と午後の枠を設け、対象年齢も小学 6 年生までとした。33 名、延べ 49 回参加。前年度に比べ、大幅に参加人数が増加した。
9 月	・ 一時保育の無期限利用休止。 ・ クラス用お散歩携帯兼カメラとして、各クラスに iPhone を配備。
10 月	・ 総合避難訓練の内容見直し。消防署より消防士を派遣してもらい、実際の訓練の様子を見てもらい、指導を受ける。災害伝言ダイヤルの体験利用を実施。 ・ 園内研修「保育者同士のコミュニケーションについて」園長より実施。 ・ 葛飾区主催保育士座談会へ職員 2 名出席。
11 月	・ 保育士バンクと業務提携、求人広告の魅せ方など採用力を強化する。
12 月	・ 利用者アンケートを初実施。「やや満足」「満足」合わせて 87%の満足度であった。(回答率 67%)
2 月	・ 労務管理ソフト『保育士バンクコネクト』を試験導入。労務管理、シフト管理を電子化し、事務負担軽減とする。 ・ 「こどもの権利セミナー」を開催。外部講師として、一般社団法人 TOKYOPLAY 嶋村仁志を招く。保護者 1 名参加し、こどもの権利について学びを深める。

(保育園としての総括)

現在おこなっている行事の見直しや環境整備など、様々な改善をおこなえた。来年度は、クラスの現状や課題を共有する場を設け、より保育の質向上を図っていく。

利用者アンケートにおいても 87%が満足しており、自由記入も好評の内容が多かった。また、園内研修も複数おこない、学びを深める機会を設けることもできた。一方で、行事や保育内容についての意見も複数あった。真摯に受け止め、改善を検討していく。

年々、人材の確保が困難になってきている。葛飾区エリアの賃金平均水準よりも高く、年間休日や残業時間数も見劣りはしていない。フルタイムの有資格パートの人数が多く、正規職員の人数が少ないのが現状であり、正規職員の確保が課題である。保育士バンクや近隣園と情報交換しながら、採用力を強化していく。

令和8年度について

(1)運営について

①保育園の魅力発信強化

少子化の影響により、定員割れをしている保育園が多くみられている。また、深刻な保育士不足による採用困難な状況も継続している。保護者にとっても、保育士にとっても「選ばれる保育園」であることが求められていく。保育園の情報をわかりやすい形で、入園や入職を希望する人へ届けられるよう、HPや園パンフレットのリニューアルを進めていく。

②第二園庭の整備

昨年度、第二園庭および駐輪場を用途とした土地を取得する。園庭チームが主導となり、子ども達の活動がより充実するように、どのような園庭作りをしていくかを議論しながら環境を整備していく。

③体操教室の導入

日々のうんどう遊びの際の補助や見守りについてノウハウやマニュアルがなく、手探りでおこなっている課題がある。運動発達をより深く理解したり、日々の活動に運動遊びを取り入れたりする目的で月に2回体操教室を実施する。体操講師との相互のやり取りを通じて子ども達により楽しく運動する機会を提供することが目的であることを念頭におく。

④クラス会議の導入

クラス間での現状や課題などを共有する機会を設けるためにクラス会議を導入する。給食会議とクラス会議を隔月でおこない、情報共有や課題解決を図る。

(2) 保育の報告

保育の内容は安全性を最優先に、人権に配慮しつつ、落ち着いた、基本に忠実な良質の処遇となるよう全職員で取り組み、保育指針への適応にも取り組んできた。保育の詳細については、「2026年度 保育の報告書」を参照願いたい。

(3) 給食・食育の報告

別紙「給食・食育の報告」を参照願いたい。

(4) 保健の報告

別紙「保健報告」を参照願いたい。

(5) 苦情解決

苦情解決委員が招集される苦情はなし。